

ちさとの風

千里山まちづくりニュース No.35

千里山入居 100周年プロジェクト

2023

特集号

SENRIYAMA
千里山まちづくり協会

2023.11.30 【秋号】

心ふれあうまち、安全で住み良いまち、美しく楽しいまち、千里山をめざして

1 千里山入居100周年によせて

会長 筒井一光

千里山は1923年に入居が始まって以来100年を迎えました。また、当千里山まちづくり協会も設立20周年を迎え、二重に記念すべき年になりました。

当協会はコロナ禍にあつて、2020年・2021年は活動を休止していましたが、昨年2022年初頭より活動を再開いたしました。

遅まきながら「千里山入居100周年プロジェクト」を立ち上げ、「これまでの百年、これからの百年」と銘打ち、月例会にてイベント企画など検討し、イベントを実施してきました。

先ず皮切りに、昨年10月にイベントとして第1噴水で関西大学の学生さんによる「朝カフェ」を開催。近くのパン屋さんに特注品を用意していただき、学生さんが特製コーヒーをいれ、訪れた方々と楽しく談話に興じました。可能であれば、定期的に継続させたいと思っています。

本年になってからは、本紙見開面から裏面に掲載しています各種イベントを開催しました。

講演会のワークショップには関係者が驚くほど多数の参加があり、地域の方々の地元への熱い思いが反映されていると思いました。

また、スタンプラリーには若い家族が中心に参加され、最終日は「マルシェ」「ステージ」と成功裏に終了することができました。

特筆すべきは、今回のプロジェクトを通して、関西大学の学生さんのご協力と長年待望していた若手会員さん複数人の入会があり、プロジェクトへの参画はもとより、スタンプラリーほかのイベント企画と運営に関わっていただいたことです。

一方、従来から進めてきました「環境や景観の保全」に関しても、100周年プロジェクトを通して地域の方々の地元への関心、ひいては地元愛の醸成へと一層進むものと確信しています。

特に環境・景観保全には地域に住まわれている住民の方々の合意形成が最も必要な要件であることから、今回の各種イベントは非常に有効であったと考えています。

10月半ばには先進事例見学のため、当協会理事7名が神戸市東灘区岡本の「美しい街岡本協会」を訪問しました。主に商店の看板の整備、景観問題や千里山同様の狭い道路問題等の質疑応答の結果、神戸市と吹田市のまちづくりへの取り組みの違いもよく分かりましたし、当協会の今後の活動に大いなるアドバイスをいただきました。

また、90周年(2013年)の今昔展で作制したパネルも経年劣化が進みましたので、リニューアルしました。今回の今昔展での展示後は千里山コミュニティセンターで随時展示していただくことになっています。

以上のように100周年プロジェクトを契機として当協会は「これからの百年」に向かって設立の趣旨「次世代へと心触れ合う環境の千里山を引き継ぐ」を再認識しながら活動を進めてまいりたいと思います。

また、「安心・安全なまちづくり」を進めるためにも、皆さまのお力をお借りたく当協会へのご参加、ご入会をお願いいたします。

大阪府都市整備推進センター助成金

2022年、2023年の2年度にわたり「大阪府都市整備推進センター」のまちづくり推進支援の助成をいただき、今回のプロジェクトが実現していることをご報告いたします。

ご支援に感謝の気持ちをお伝えするとともに、御礼を申し上げます。



詳しい情報は
プロジェクト
ウェブサイト
をご覧ください



■ 千里山入居100周年記念講演会・ワークショップ 千里山のこれまでとこれから

2月19日(日)午後2時～4時 参加者89人
講師:岡絵里子さん
(関西大学 環境都市工学部 教授)

このシンポジウムでは、千里山の今をよく知ること目標としました。まず千里山の、歴史、データから見える特徴、景観の特徴を学びました。

続いて住民の千里山に対する意識を把握するため、ワークショップを行いました。意見311件を分析したところ、次の10の話題がありました。

- ①緑環境、②コミュニティ、まちの更新、移動の問題など、③街のシンボル(第一噴水とその周辺)、④千里山の環境イメージ、⑤家以外の居場所、⑥住民や地域の特徴、⑦街での暮らし1、⑧街での暮らし2、⑨千里山駅とその周辺、⑩看板、電柱

また、多く使われた言葉を見ると、千里山の良い点として、静か、美しい、緑、閑大、景観、道など、悪い点として公園、狭い、道路、看板、駅前など、両方に見られるものとして、交通、噴水などがありました。



■ 千里山のこれからの景観形成について

3月21日(火)午後2時～4時 参加者43人
講師:藤本英子さん
(京都市立芸術大学 美術学部 教授)

2月19日のワークショップで得られた事項の改善や向上には、総合的に取り組むとともに住民の共感も得る必要があります。視覚的に評価する景観は、参加と理解が容易であることから、このシンポジウムでは、景観まちづくりを学ぶことを目標としました。

吹田市景観アドバイザーでもある講師からは、次のアドバイスをいただきました。

- ①地域の人々との意識+地域景観の状態が景観力。この力を向上させることが大切。
- ②緑をより良くするには、緑の特徴を把握し、効果的な活用方法を考える。そして、緑の環境づくりに参加し積極的に楽しむ。
- ③危険で不便に感じる坂道や狭い道路も、街の魅力で、モビリティ自体が変わりつつある。通過交通を排除したヒューマンスケールのまちづくりの実現も考えるべき。
- ④本来、駅前には地域の魅力の中心。関わって住みたくなるまちづくり、PRして訪れたいなるまちづくり、個性ある駅・駅前づくりを意識する。
- ⑤千里山のシンボル、第一噴水、レッチワース通り、図書館、関西大学、これらの活用を 考えることが大切。

続いて行ったワークショップでは、58件の参加者の意見・質問に対して講師から具体的なアドバイスをいただきました。

これら2つの講演会の成果が、2023年夏以降の緑地の調査や、にぎわい景観づくりを目指したイベント開催につながっています。(若本和仁)

■ 記念講演会「千里山の歴史について」

2023年11月3日(金・祝)、「千里山入居100周年記念イベント」の一環として図書館とのコラボで、「千里山の歴史」について講演しました。

その中で大正12年4月9日の新聞記事を紹介しました。4月8日に新住宅地に99戸が完成した披露宴を開催したという入居当時の記事です。新しい町ができる「町びらき」が行われますが、千里山の町開きは、この日だったと考えても良いでしょう。

千里山は大阪の都心から約10キロ離れた丘陵にあり、その一番の高所は五里山と呼ばれていて三本松とも言われていました。ここには垂水西原古墳がありました。この高所を利用して、江戸時代から明治中頃まで、旗を振って堂島の米相場の動きを各地に伝える「旗振り通信」の中継地となっていました。

千里山の初期の住宅地平面図には、若松町・楠町・松ヶ枝町などと記入されていますが、今は残らないその町名やかつての小字の名が電柱のプレートにあるということも紹介しました。

そのほか、現在の関西大学幼稚園のある場所には、千里山遊園があり、園内には小動物のゲージやブランコなどの遊具、大きなすべり台、そして飛行塔など賑わっていました。(堀田暁生)

■ 本の交換会と読書会 & バックづくりの工作教室(図書館協力)

千里山まちづくり協議会と図書館がタッグを組み、千里山入居100周年の記念イベントを開催しました。本を介して人・まちを繋ぐ試みです。

一つは、本の交換会です。始まりと同時にコメントをつけた本を持って小さなご兄弟が来てくださいました。が、大人向けの本しか用意してなかったため、ガッカリな様子でした。こんなかわいい2人を失望させてはならじと、あわてて自宅から本を持参し、選んでいただきました。気に入ってもらえたかな？

もう一つは、テーマにちなんだ本を持ち寄り、紹介しようという読書会です。『まち』というテーマに対して思い思いの本を片手に集まった6名は、順番にプレゼンしました。好きな本、思い入れのある本を熱く語られるので、聴く方も引き込まれます。本を読む楽しさを共有できたような不思議で楽しい時間でした。

また、図書館の全面協力のもと、絵本のカバーを利用したバックづくりの工作教室には、数名のご家族が参加されました。図書館では、絵本のカバーは外されます。その美しく丈夫なカバーの再利用はSDGsの観点からも、素晴らしい。大人も子どもも夢中です。でき上がった時のうれしそうなお顔が印象的でした。(田中由紀)



■ 千里山入居100周年記念・春秋散策

案内:島本恵司

4月「千里山界隈の大正ロマンを尋ねて」

千里山駅バス停広場9時30分集合→千里山第一噴水→千里山基督教会(服部多郎牧師 説明)→千里山神社(藤木祐輔千里山自治会会長 説明)→五里山→千里寺(武田達城住職 講話)12時30分終了。参加者29名。

10月「千里山発展の礎となった佐井寺散策」

吹田市立博物館池田直子学芸員にも同行していただき、23名が参加しました。<散策コース>

千里山駅バス停広場9時30分集合→愛宕神社→佐井の清水→伊射奈岐神社→佐井寺→くり抜き水路入口→向かい坂地藏→佐井寺南が丘公園12時20分終了。

池田学芸員から各社寺の歴史や、文化財、古民家などについて詳細な案内がありました。佐井寺南が丘公園では、造形作品の「オンファロス」が吹田のへソ(中心)を表現していることや四隅の四神モニュメントを案内しました。

■ 遊ぼう学ぼう千里山 スタンプラリー&100周年フェス

千里山で暮らしていても、なかなか出逢うことのない小さなお店やカフェ、ギャラリー、子育てサロンなど、素敵な場所がたくさんあります。それらをスタンプラリーでつなぐことができたら、もっと千里山を好きになっていただけるかも。

このイベントは、そんな思いを持つ3人の方のお声がけではじまりました。半年あまりの準備期間を経て、スタンプラリーは10月21日(土)から29日(日)まで、最終日は千里山会館での100周年フェスで幕を閉じました。

スタンプラリーには15の店舗&施設に参加していただきました。お店によっては、新しいお客様につながる機会になったとお喜びの声もいただきました。千里山まちづくり協議会の会員である私たちも、はじめての場所と人のつながりで楽しい時間を過ごすことができました。

10月29日(日)は、アクセサリーや焼菓子といった10店舗が登場するマルシェ、千里山まちづくり協議会とともに100周年記念プロジェクトに携わっている関西大学住環境デザイン研究室による集合住宅アンケートも実施しました。会場2階のステージでは、元NHKキャスターで新会員でもある岡本麻友子さんの司会で、関西大学の漢舞や大阪大学の人形劇、地元ミュージシャンのライブ、「吹田くわい囃子音頭」の踊りに加え、ハロウィンの仮装ショー、スタンプラリーの景品交換会も行われました。(赤尾百合子)



■「僕の千里山ものがたり」

著者：田代しんたろう(為寛)

漫画家の田代しんたろうです。本年4月に『僕の千里山ものがたり』という単行本を発刊いたしました。3歳から10歳までを過ごした千里山での日々を少しずつ思い出しながら漫画にしたものです。

吹田市千里山72番地で過ごした8年間は、幼稚園から小学校へと初めて家庭以外の《世の中》を知った戸惑いと楽しみに満ちた日々でした。その少年時代は転居という形で終止符を打たれましたが、それだけに千里山の思い出は永遠の美しい記憶となりました。そこでの恩師や友人や坂道の記憶を時折反芻して力をもらいながら、その後の人生を過ごしてまいりました。

東京の「千里山会」の存在を知ったのは、転居から41年経った1999年のことでした。早速入会させていただき、翌2000年3月発行の会誌『千里山』3号から漫画を掲載させていただき、会誌編集のお手伝いもさせていただきました。会誌『千里山』に寄稿しました22編の短編漫画に当時連載を持っていた四コマ漫画誌『まんがホーム』（芳文社）掲載の1編を加えた23作品を今回単行本化いたしました。まだ描き残している話題もあるのですが、近年記憶の鮮明度が薄れつつあることを自覚し、完結しようと考えたのです。

出版元の選定に当たっては関西の出版社が望ましいと思い、千里山まちづくり協議会の小島功さん、岸田徹さんからご助言をいただき、京都のリトルズから発行することにいたしました。

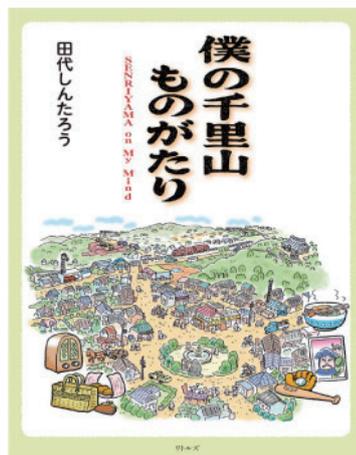
千里山で物心ついた少年の、情けない思い出話ですが、一片の昭和史としてお読みいただければ幸いです。

【その他のお楽しみ】

- 挟み込み付録として、1955年頃の千里山を鳥瞰したカラー絵葉書が添えられています。
- 会誌『千里山』デビューとなった、「うろおぼえイラストマップ」を巻頭と巻末の見返しに使用いたしました。
- カバーをはずした表紙には描き下ろしの隠しイラストもありますので、ぜひご覧になってください。



本購入はこちら↑



■ 100周年プロジェクト協賛プログラム 千里山コミュニティセンター ギャラリー

100周年プロジェクトを進めるにあたり、地域の団体や個人にチラシを配布し協賛を呼びかけました。結果、数名の申し込みがありました。サポートが難しいものが多く、実現したのは次に記す作品展のみでした。

八嶋 恵美子 書・仏画展

2月11日(土・祝)～20日(月)／10月1日(日)～10日(火)

日常あまり目にする事のない仏画に、観賞に訪れた方々から作品の精緻な筆使いに感嘆の声がしきりでした。

加治屋 恵 絵画作品展

3月4日(土)～10日(金)／9月23日(土)～30日(土)

明るい色使いや千里山で生まれ育った作者の幼少期からの記憶に基づく個性的な作品に、楽しく共感を持って鑑賞する方が多くみられました。

お二方の作品展は好評裏に終了し、作者の方々にもたいへん喜んでいただきました。このように地域にお住いの方で、多彩な趣味をお持ちの方が多く居られるでしょう。ご近所でも知られていないし、気軽に発表できる場や機会が無いのが現状です。その意味でも今回の企画が住民同士の繋がりを産む一助になったのではないかと考えています。

今後も当協議会が発表をお手伝いして、地域の皆さまに楽しんでいただければ幸いです。

【今後の行事予定】

講演会（講演者：関西大学都市環境工学教授 岡 絵里子さん）

「千里山の現況調査の報告と今後に向けてのまちの課題」

2024年2月24日(土)午後1時30分～3時30分 千里山コミュニティセンター 多目的ホール



投稿歓迎! ご意見や千里山ニュースなどへの情報をお寄せ下さい。ブログ「ちさとの風」へのコメントやトラックバックもよろしくお願ひします。千里山まちづくり協議会では会員を常時募集しています! (年会費:1000円) 以上、当協議会また開催イベントなど、お問い合わせやご参加の際には、お気軽に下記事務局までご連絡下さい。

発行：千里山まちづくり協議会 会長：筒井一光 編集：池淵佐知子・小島功

事務局：〒565-0851 吹田市千里山西5丁目11-19 千里山会館内 TEL：06-6384-0603

(年会費などの振込み口座番号：00990-7-278514 口座名称：千里山まちづくり協議会)

ブログ：ちさとの風 <http://blog.goo.ne.jp/chisato-wind> (右のQRコードでアクセス)